

地域で広がる

# サブスクリプションサービス



「サブスクリプションサービス」(通称・サブスク)は、もともと新聞や雑誌の定期購読を指す言葉でしたが、音楽や動画配信等デジタルコンテンツの定額制サービスの普及により、その言葉が定着しました。サブスクは今や色々な業種で導入されており、ここ数年で市場規模は拡大しています。ここではサブスクが広まった背景と課題についてお伝えします。

## サブスクが広まった背景と市場規模

「手頃な値段で、多くの商品やサービスを体験できる」ことがサブスクの魅力のひとつです。また、このサービスが広まった背景には、「できるだけモノを持ちたくない」「モノの豊かさよりも心の豊かさを大事にする」など、消費者の価値観の変化があると言われています。

国内のサブスクリプションサービスの市場規模は、2018年度5.627億3,600万円が、2023年度には8.323億5,000万円にもなると予測されています。この数字には、

いわゆる音楽や映像コンテンツ系その他、ファッション系定期宅配、飲食サービス、生活関連、教育など8市場が含まれています。(※)

## 三重県内のサブスク事例

県内でも様々な業種でサブスクリプションサービスが提供されています。いくつか事例をご紹介します。

### 事例1 おもちゃのサブスク「このトイ」

「このトイ」は、0歳から3歳頃までの子どもを対象とした、おもちゃのサブスク(レンタル)。



パッケージ(一例)

鈴鹿市の株式会社オフィス桐生が2021年10月よりサービスを開始し、同社が運営する企業主導型保育園の「このはな保育園」

園」が玩具(おもちゃ)の監修を行っている。

低年齢の子どもには成長に合った玩具を与えることが重要だが、高品質な知育玩具ほど価格が高い傾向にある。「このトイ」では月額8,800円(税込)(絵本無しプラン)で、月齢に応じた知育玩具が2か月に1度届く。月齢ごとの固定パッケージには約30,000円相当の玩具が入っており、継続的に高品質な知育玩具で遊ばせることができる。

【問い合わせ先】  
株式会社オフィス桐生  
TEL 0593-368934 55  
info@office-kiyuu.com  
https://office-kiyuu.com/konotoy.php

### 事例2 お墓のサブスク「偲慕(しほ)」

「偲慕(しほ)」は、松阪市の株式会社佛英堂が2021年4月より開始した、日々の供養管理、年忌法要などが月額3,300円(税込)で利用できるお墓のサブスク。

「昨今、後継者がいないといった事情からお墓を作らずに遺骨を自宅に安置する人が増えている。しかし、「供養に心残りがあ

る」という声がかかれることから、数は約40名。今後は認知度UPを図り、より多くの人に利用してもらおうことを目指している。

【問い合わせ先】  
株式会社佛英堂(偲慕事務局)  
TEL 0590-2110959  
info@butsuido.com  
https://onakanojy.jp/

## 消費者が使いやすい工夫

サブスクは、「いろいろな商品やサービスを試すことができる」「高価格、高品質な商品サービスを手軽に利用できる」「モノを所有しなくてよい」など、消費者にとって多くのメリットがあります。一方で、「サービスを使いきれなかった、あまり利用できなかった」「自分が求めているものが提供されなかった」「利用していないのに、解約をし忘れて料金を払い続けてしまった」など、メリットをうまく享受できずに、消費者が離れていくこともあります。

消費者の嗜好や生活パターンに合ったサービスを検討し、長く利用してもらええる工夫が必要といえそうです。

参考HP:消費者庁ウェブサイト  
(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_policy/meeting\_materials/review\_meeting\_002/018864.html)  
参考資料:「サブスクリプションサービスの動向整理」(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 作成) (2019年12月9日)



石碑(一例)

【問い合わせ先】  
株式会社佛英堂(偲慕事務局)  
TEL 0590-2110959  
info@butsuido.com  
https://onakanojy.jp/

ら、このサービスをはじめたという。利用には月額料金と初期費用(墓石代、墓石への彫刻費、入仏法要、永代供養料で(税込)275,000円)が必要。提携寺院は複数あり、宗教・宗派を問わず、檀家になる必要もない。また、いつでも解約が可能で、解約後も永代供養される。

### 事例3

## 「HORI TIME PASSPORT」(ホリタイムパスポート)

「HORI TIME PASSPORT」(ホリタイムパスポート)は、桑名市で創業の老舗珈琲店HORI COFFEEが2022年3月より開始した、毎日コーヒーを楽しめる定額制サービス。従来のコーヒーチケットに代わる新しいスタイルのサービスとしてスタートした。

店舗にタンブラーを持参すると1日1回来店で1杯のコーヒーが無料となる。初回購入時に、チラシ掲載の赤いタンブラーがプレゼントされる。店舗を全店周れば1日最大5杯飲むこともできる。利用料金は月5,500円(税込)で、パスポートの期限は購入日より1ヶ月間。一杯の珈琲の香りとテイストを日々の暮らしの中に「もっと身近に!もっと手軽に!お届けしたい」との思いが込められている。

【問い合わせ先】  
有隣会社ホリ  
TEL 0594-846181(事務所直通)  
利用については各店舗スタッフまで。  
(ホリ珈琲店舗情報)  
https://hori-coffee.co.jp/shop-list/

### 事例4

## ホテル朝食のサブスク「朝食サブスク」

鈴鹿市の白子ストーリーアホテルでは、2021年6月よりレス



朝食ビュッフェ(一例)  
・利用時の感染対策:マスク着用、ビニール手袋着用、手指消毒、アクリル板設置  
・駐車場利用料金:200円/1H、最大24H1,000円(いずれも税込)

トランの朝食が定額で利用できる。「朝食サブスク」を実施している。ホテルの利用者だけでなく、近隣の方にも気軽に利用してほしいという思いから、同サービスを開始したという。

月額料金は、全日10,000円と平日限定8,000円(いずれも税込)の2パターンがあり、通常1,000円のビュッフェ形式の和洋朝食が楽しめる。フロントにてサブスクパスを購入し、朝食会場でパスを提示することにより利用できる。現在、利用者